

2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年10月31日
NECネットエスアイ株式会社
(銘柄略称: NESIC 銘柄コード: 1973)
執行役員社長 和田 雅夫

- I. 上期実績概要**
- II. 通期業績見通し**
- III. 中期経営計画の進捗状況**

-
- I. 上期実績概要**
 - II. 通期業績見通し
 - III. 中期経営計画の進捗状況

受注高・売上高が好調に推移し、 全ての指標で目標達成

(単位:億円)

	14/3期 上期実績	15/3期 上期実績	前期差/比	予想値 (4月28日)	予想との 差異
受注高	1,386	1,564	+13%	-	-
売上高	1,152	1,306	+13%	1,250	+56
営業利益	42	45	+3	45	0
(営業利益率)	(3.6%)	(3.4%)	△0.2pt	(3.6%)	△0.2pt
四半期純利益	27	27	0	27	0
(四半期純利益率)	(2.3%)	(2.1%)	△0.2pt	(2.2%)	△0.1pt
フリー・キャッシュ・フロー	146	44	△102		

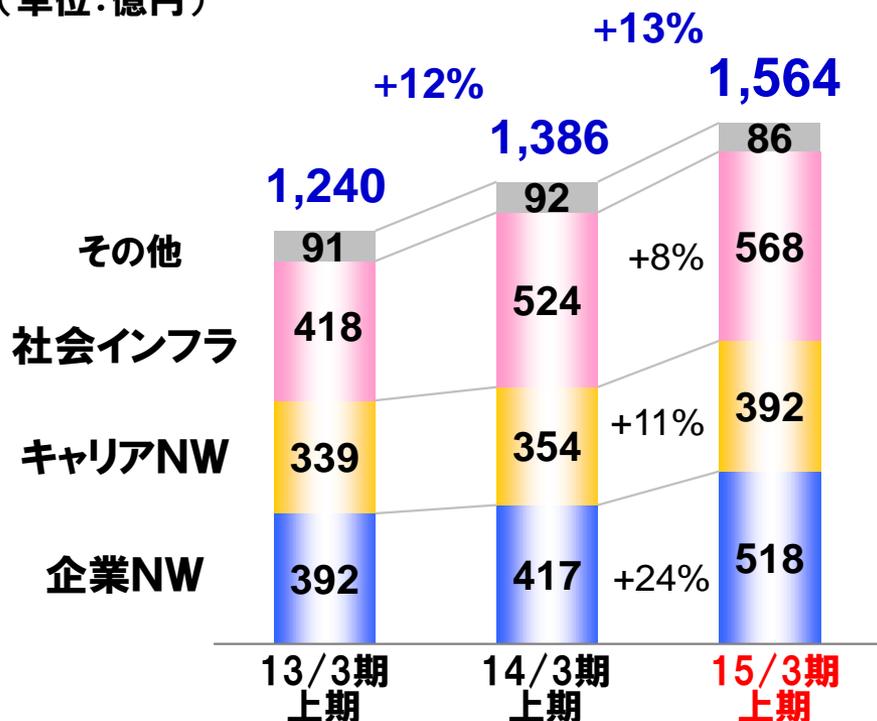
2015年3月期 上期 セグメント別受注高／売上高

受注・売上2桁成長を継続

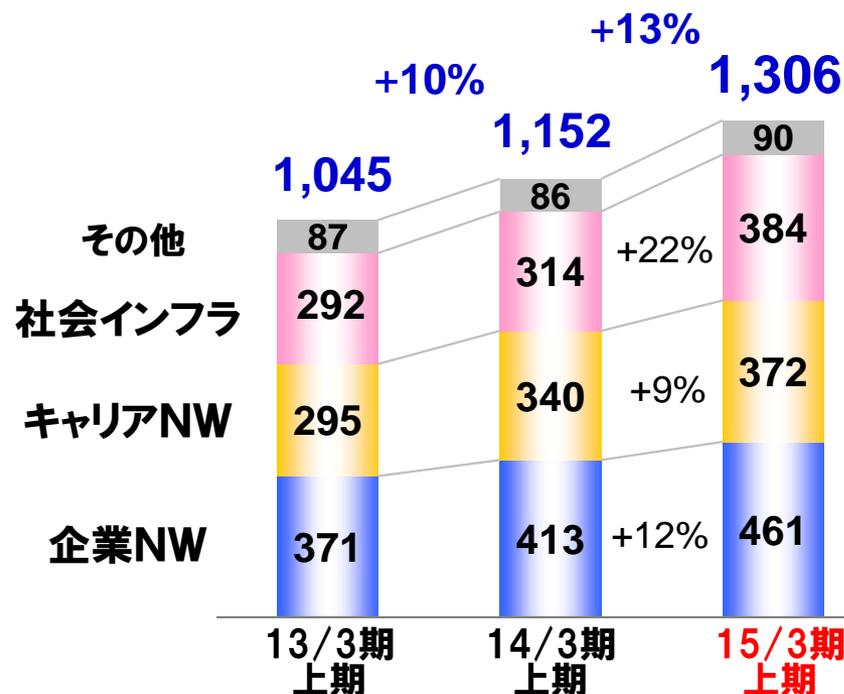
～ ICT投資回復、消防・防災システム事業、M&A効果

(単位:億円)

受注高



売上高



当社グループでは、マーケット別の事業体制の強化を進めており、一部事業体制の見直しを行ってまいりました。これを受け、当連結会計年度より、従来「社会インフラ」セグメントに含まれていた移動体基地局等の通信事業者向け工事業を「キャリアネットワーク」セグメントに含める等の報告セグメントの内容変更を行いました。また13/3期、14/3期も、これに合わせた組替え値で表示しております。

2015年3月期 上期 企業ネットワーク事業

受注・売上ともに前年同期比2桁増加

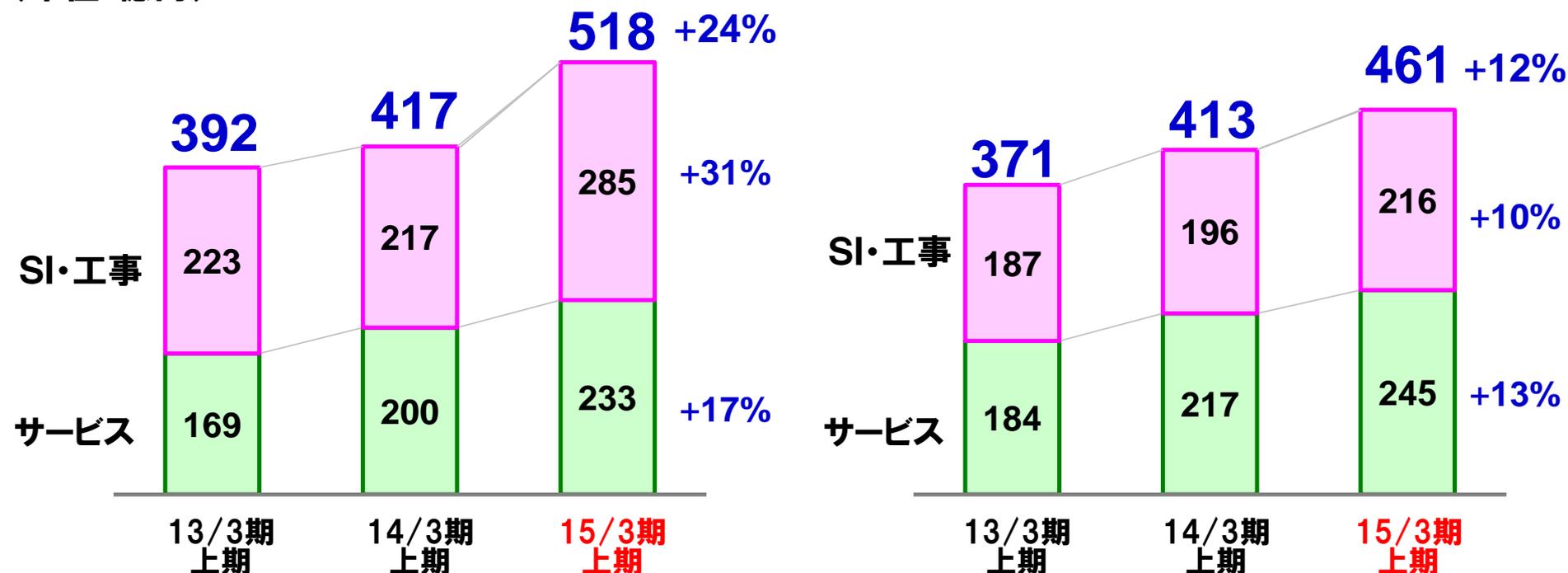
- ICT投資意欲の回復を捉え、受注が売上に先行して拡大（+24%）
- キューアンドエー社(QAC)の連結効果(1Q)（受注・売上高：+約30億円）
- EmpoweredOffice事業は好調継続（売上高：+20%）

※キューアンドエー社含む

(単位:億円)

受注高

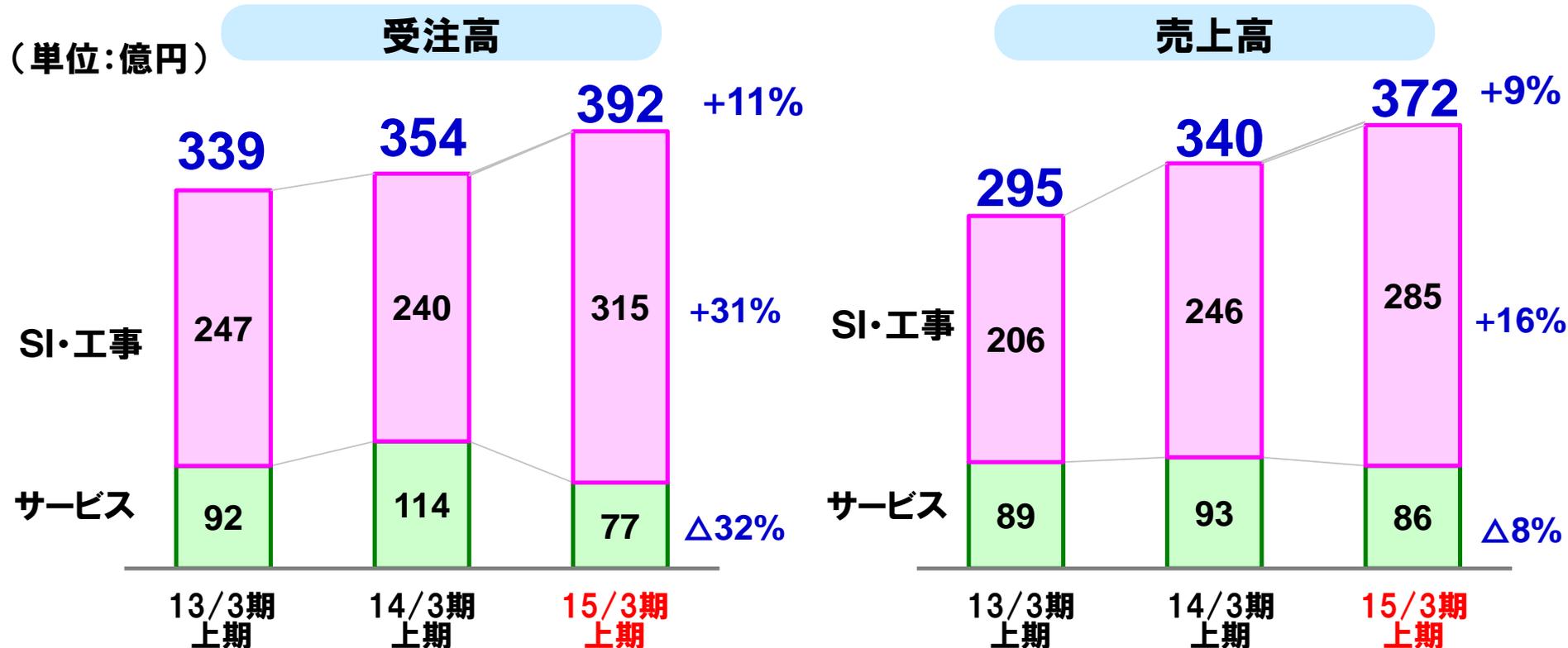
売上高



2015年3月期 上期 キャリアネットワーク事業

前年M&Aの効果により、受注・売上が前年同期比増加

- NECマグナスコミュニケーションズ社の連結効果(受注・売上高: +約100億円)
- テクニカルアウトソーシング事業は伸長継続 (売上高: +11%)
- 移動体基地局事業はLTE増もプラチナバンドの反動で減少 (売上高: △約30%)
- 受注におけるサービス事業の減少は長期保守案件の前年度一括計上の影響



2015年3月期 上期 社会インフラ事業

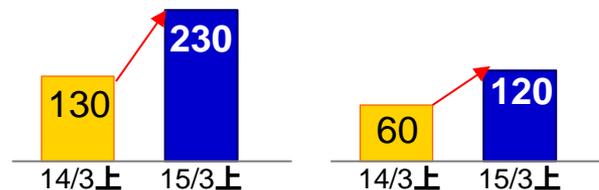
公共投資の増加を背景に受注・売上が前年同期比増

- 消防・防災システム事業が受注拡大、受注済み案件の工事が活況

消防・防災システム事業 上期実績

受注高

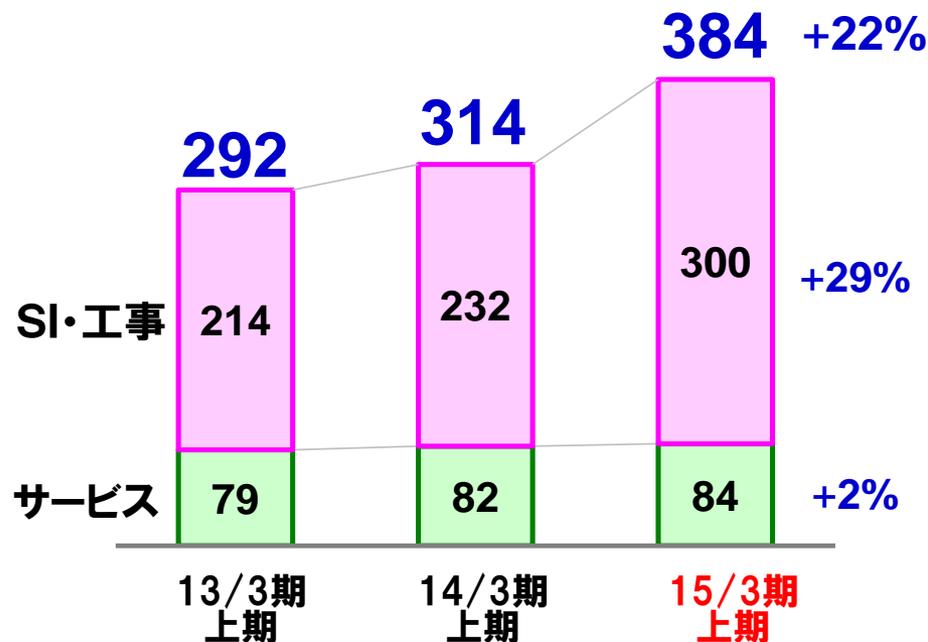
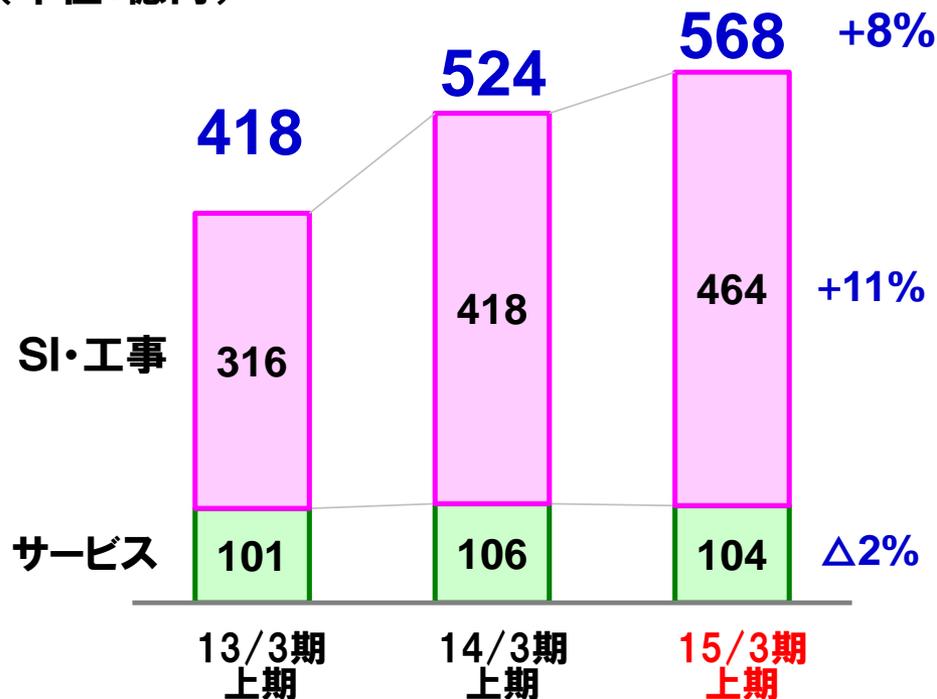
売上高



受注高

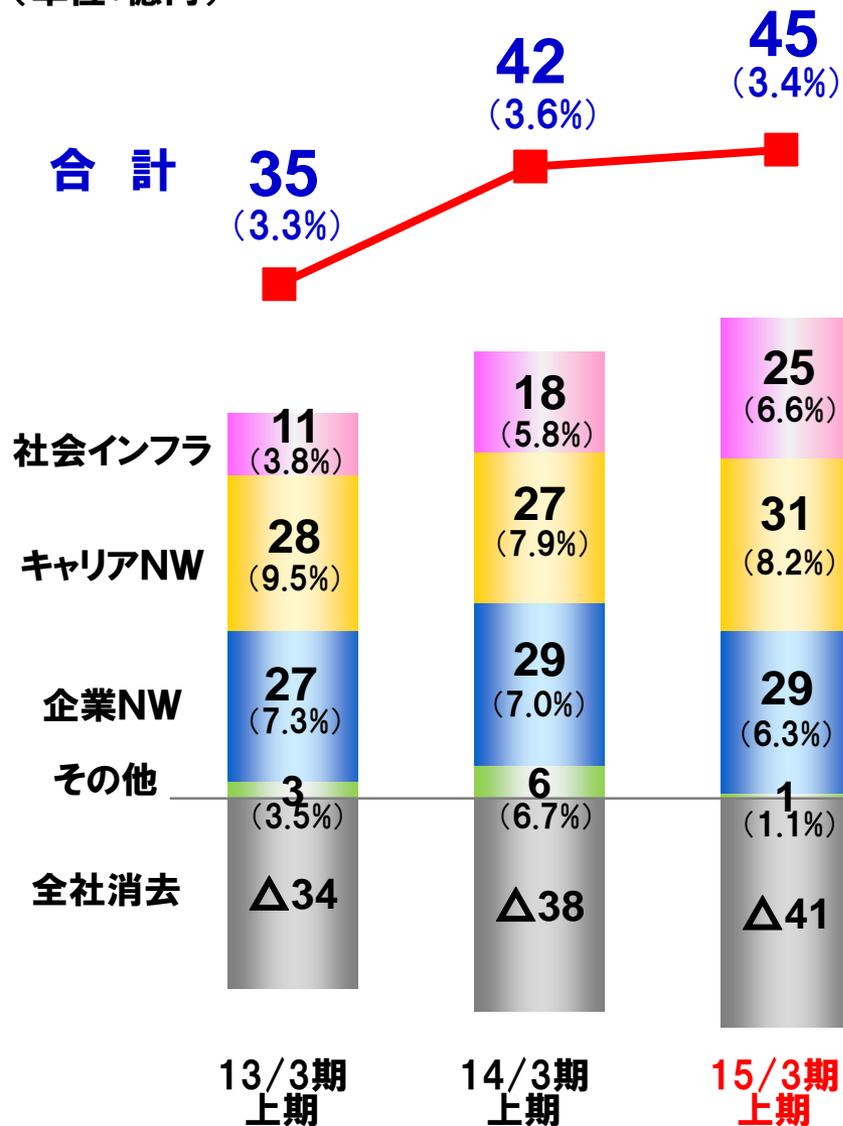
売上高

(単位:億円)



2015年3月期 上期 セグメント別営業利益

(単位:億円)



1Q減益を2Qで挽回し、増益継続

- 社会インフラ
 - ・売上増により増益
- キャリアネットワーク
 - ・原価率の改善に加え、NECマグナスが収益貢献
- 企業ネットワーク
 - ・売上ミックス変化で採算性が低下も売上増により横ばい
- 連結子会社における前年特需の反動および開発費の増加により減益
- サービス基盤整備費用が増加

2015年3月期 上期(14年9月末) バランスシート

売掛債権の回収と買掛債務の返済などにより総資産を圧縮し、自己資本比率を1.7%改善

(単位:億円)

		14年3月末	14年9月末	増減
	現金及び現金同等物、有価証券	444	519	75
	受取手形及び売掛金	960	771	△189
	たな卸資産	82	124	43
	その他流動資産	88	88	0
流動資産合計		1,574	1,503	△71
固定資産合計		317	323	6
資産合計		1,891	1,826	△65

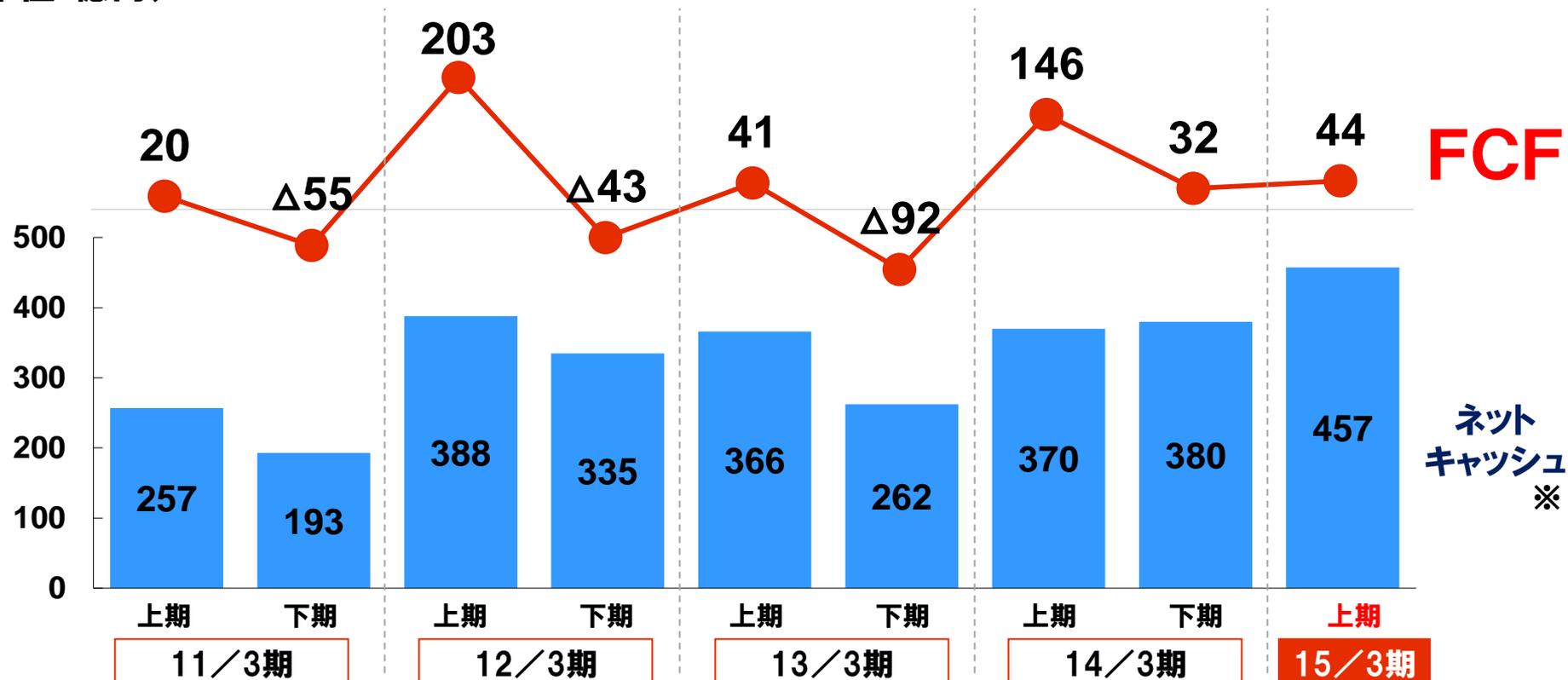
	買入債務	432	378	△54
	借入金	64	62	△2
	その他負債	503	492	△11
負債合計		999	932	△67
	株主資本合計	912	911	△1
	その他の包括利益累計額	△37	△35	2
	少数株主持分	17	17	1
純資産合計		892	894	2
負債純資産合計		1,891	1,826	△65

自己資本比率		46.3%	48.0%	+1.7pt
--------	--	-------	-------	--------

2015年3月期 上期 キャッシュフロー

FCFは稼働プロジェクトの増加と入金タイミングの影響により前年同期比減少

(単位:億円)



※ネットキャッシュ=現金および現金同等物(含む有価証券)-借入金

-
- I. 上期実績概要
 - II. 通期業績見通し**
 - III. 中期経営計画の進捗状況

企業および社会インフラ分野を中心に 足元の事業環境は堅調

● 企業ネットワーク

- ・景況感の回復を受け、国内のICT投資は回復傾向

● キャリアネットワーク

- ・キャリア設備投資は、前年度までの高水準の反動あり

● 社会インフラ

- ・安心・安全をテーマとした公共投資の継続が見込まれる
- ・消防システムデジタル化対応において受注済PJの工事が活況（受注はピークアウト）

2015年3月期 通期業績予想

■ 上期の業績状況および堅調な事業環境を鑑み、
受注高・売上高を上方修正

(単位:億円)

	14/3期 実績	15/3期 予想値	前期比/差
受注高	2,801	2,950	+5%
売上高	2,703	2,850	+5%
営業利益	144	150	+6
(営業利益率)	(5.3%)	(5.3%)	+0.0pt
当期純利益	83	90	+7
(当期純利益率)	(3.1%)	(3.2%)	+0.1pt

期初予想	期初予想差
2,900	+50
2,800	+50
150	0
(5.4%)	△0.1pt
90	0
(3.2%)	0.0pt

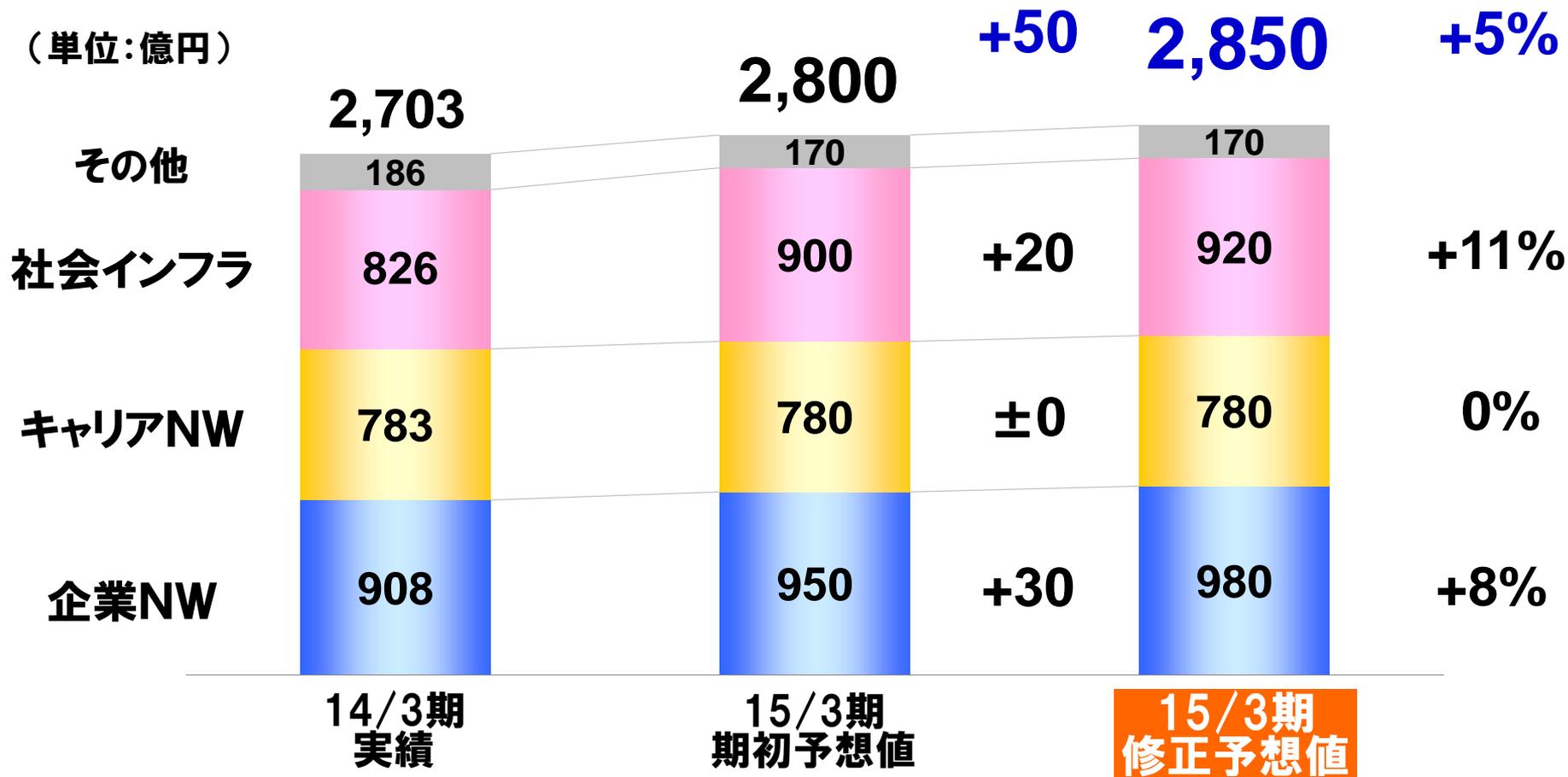
※予想値は、2014年10月30日現在のものです。

2015年3月期 通期 業績予想(セグメント別売上高)

企業、社会インフラ分野の好調さを反映し、
売上高予想を50億円上方修正

前年同期比

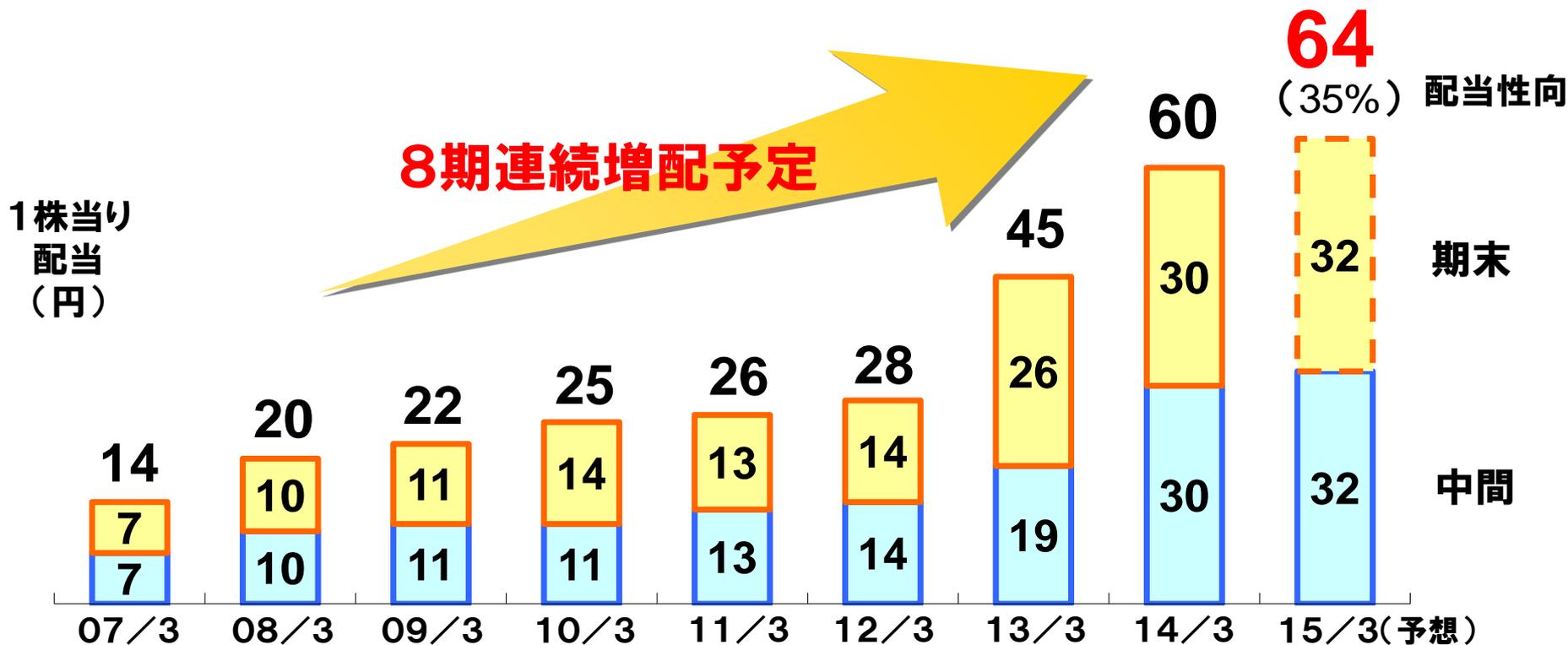
(単位:億円)



※修正予想値は、2014年10月30日現在のものです。

■ 期初計画どおり、32円の中間配当を実施

- 期末配当計画も変更なし

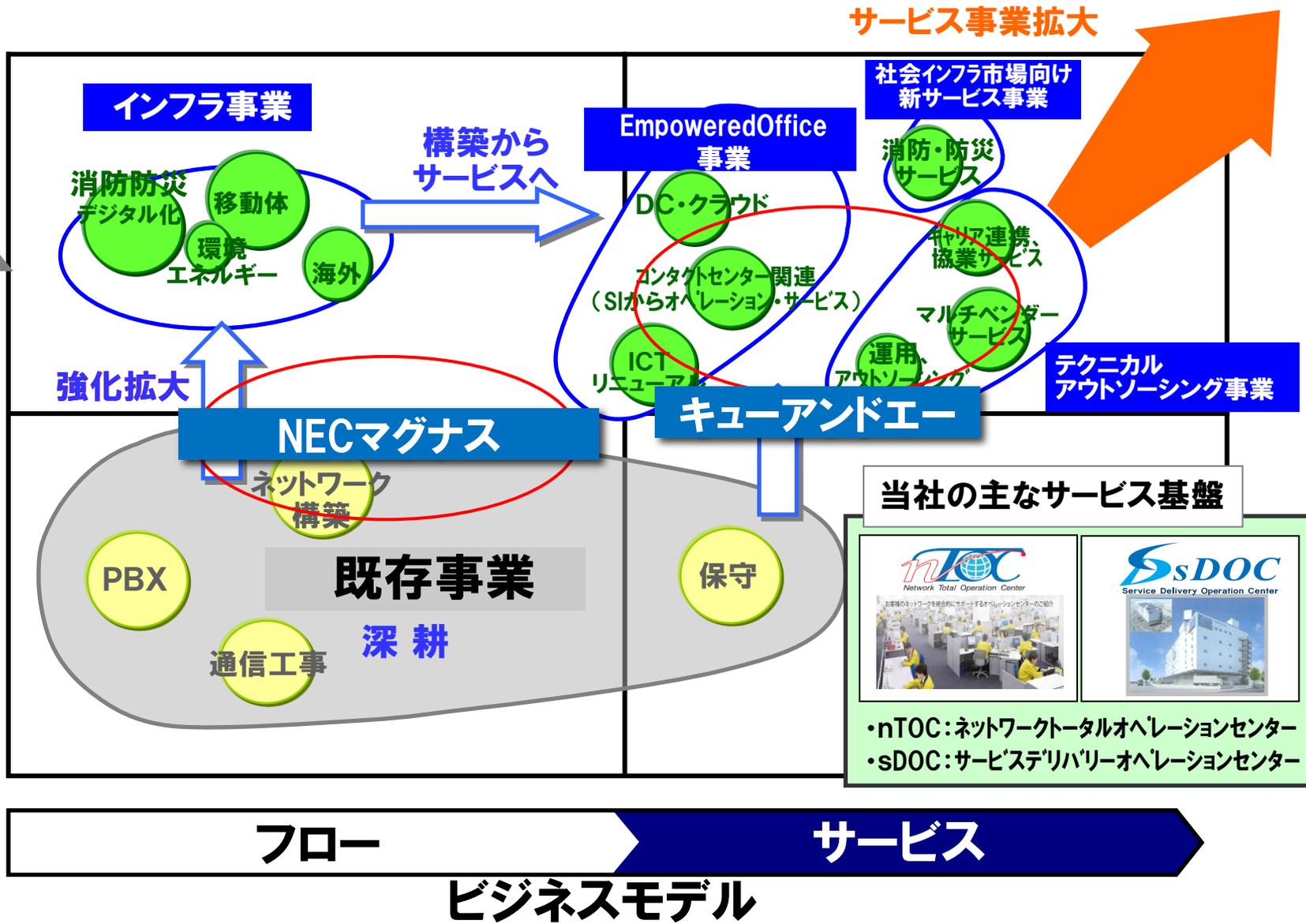


-
- I. 上期実績概要
 - II. 通期業績見通し
 - III. 中期経営計画の進捗状況**

重点事業領域(戦略マップ)

再掲

高い
市場成長性



サービス事業に構造を変えつつ、 売上高成長、収益性の改善を図る

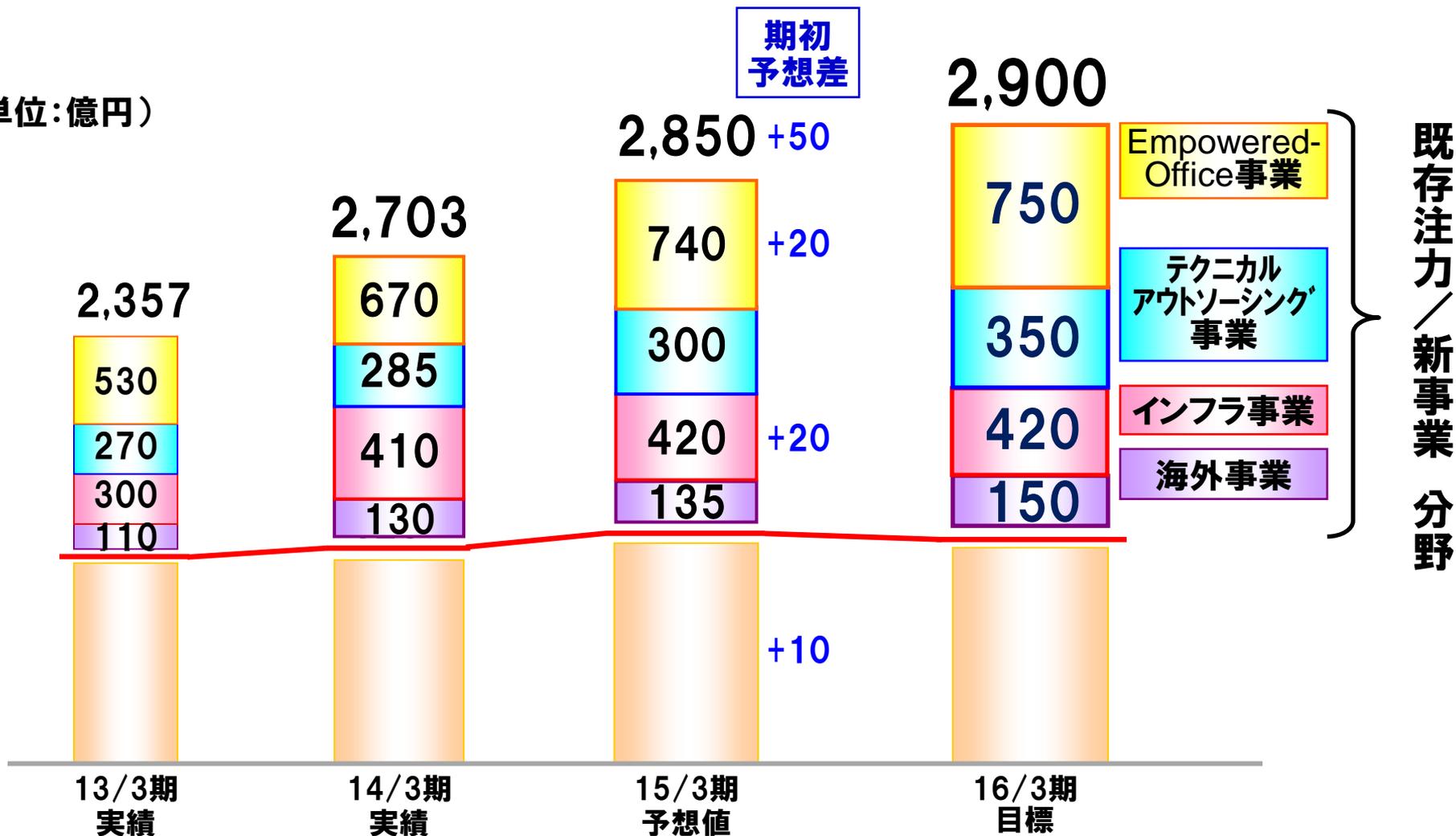
- 売上高 2900億円以上
- 営業利益 160億円以上
- 営業利益率 5.5%以上
- ROE 10%以上

上場企業として株主価値を向上

中期経営目標(事業分野別売上高)

注力分野の成長を加速

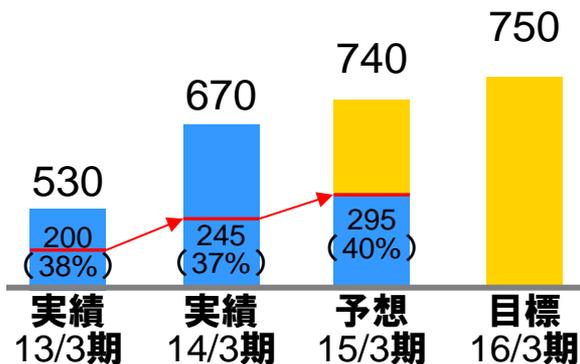
(単位:億円)



EmpoweredOffice事業(EO)

売上計画／実績

(単位:億円)



()内は年間予想／実績に対する上期進捗率

戦略

- **マーケット拡大**
 - ・地方・公共へのEO事業展開
 - ・オフィス市場深耕
- **サービス事業の拡大**
 - ・共通基盤連携強化
 - ・DC、クラウド事業の
取組み強化

中期経営計画達成に向けた進捗

● マーケット拡大の推進

◆ オフィス市場深耕(再開発／ビルリニューアル等)

- ・デベロッパー、不動産会社との連携による事業拡大
- ・上期受注:前年同期比2倍

◆ 支社・支店のEO化およびブランド浸透活動の推進

- ・引合い案件増加・・・前期比2倍
- ・日経ニューオフィス賞受賞
(本社含め7拠点受賞)

日本全国での拡販体制を整備



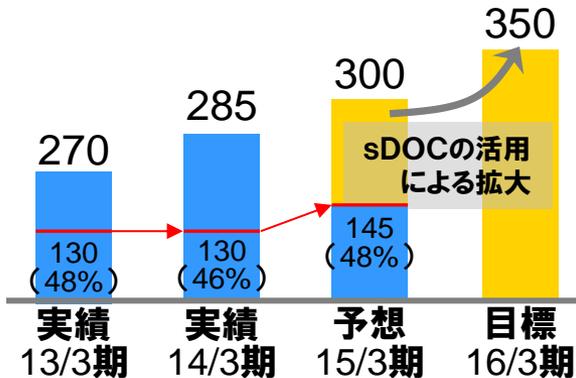
● ワークスタイル改革ソリューションの拡充

◆ 競争力あるグローバルスタンダード製品 への取組み強化

テクニカルアウトソーシング事業

売上計画／実績

(単位:億円)



()内は年間予想／実績に対する上期進捗率

戦略

- 共通事業基盤の活用による事業拡大、効率化
- キャリア向け事業の深耕
- マーケット拡大
(キャリア⇒企業)

中期経営計画達成に向けた進捗

- テクニカルアウトソーシング事業拠点の新設
- ◆ 総合テクニカルセンター(sDOC)本格稼働<7月>

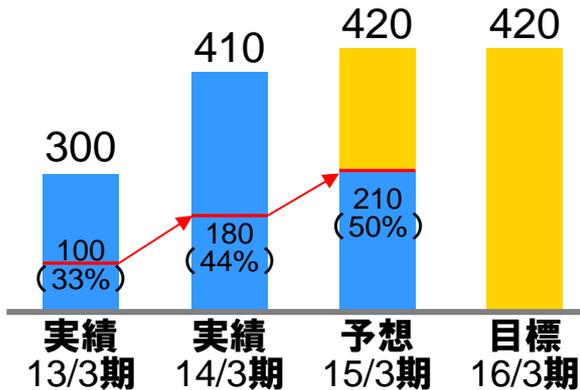


- センター活用のテクニカルOS案件の提案推進
 - ・開設以来、約70社、約500名が見学
 - ・受注実績が外資ベンダー、キャリアに加え、SI系販社等に拡大

インフラ事業

売上計画／実績

(単位:億円)



()内は年間予想／実績に対する上期進捗率

戦略

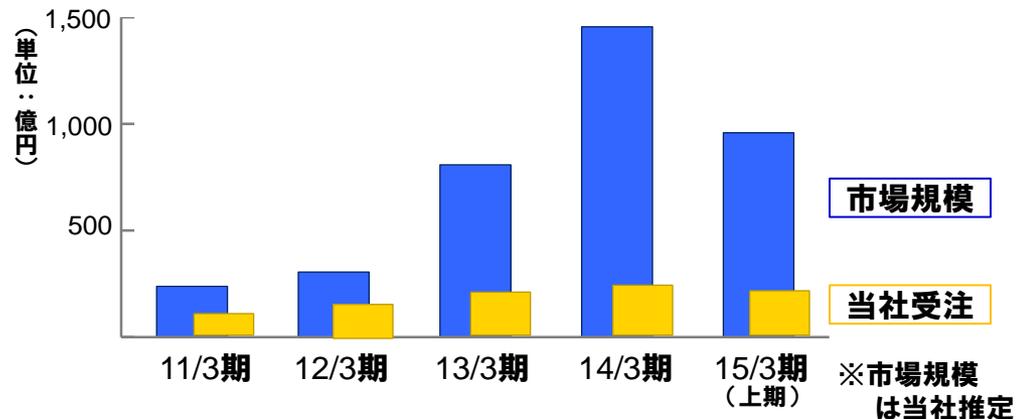
- 消防・防災事業
 - ・ NECグループ連携による消防・防災事業シェア拡大
 - ・ 消防新サービス事業の立ち上げ
- モバイル関連事業
 - ・ 事業統合シナジーによる売上拡大
 - ・ 全国展開力強化による事業拡大

中期経営計画達成に向けた進捗

● 消防・防災システム事業の推進

◆ 消防デジタル化(16年5月期限)の受注活動追込み

・ 当社シェア 20%確保 (11/3期～15/3期上期累計)



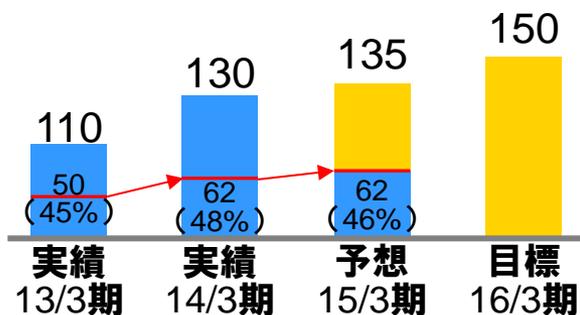
● モバイル事業の推進

- ・ 上期:アウトドア分野はプラチナバンドPJの反動減も首都圏中心にシェア拡大
- ・ 下期:インドア分野の増加で事業拡大 (モバイル事業 下期受注計画 前年同期比+15%)

海外事業

売上計画／実績

(単位:億円)



()内は年間予想／実績に対する上期進捗率

戦略

- アジア圏を中心とした通信インフラ事業の拡大
⇒ NEC-APAC連携
⇒ ODA案件深耕
- JOC事業強化
(中華圏・東南アジア)

中期経営計画達成に向けた進捗

● 通信インフラ事業の拡大

◆ 既存顧客深耕による通信インフラ構築事業の拡大

● タイ(AIS社):

3G通信網構築PJ

→ 2年累計で、約100億円を受注

● サウジアラビア(アラムコ社):

プラント通信関連の拡大

→ サウジ西岸地域プロジェクト(約40億円へ拡大)

→ 次期大型プロジェクトの取込み

● JOC事業への取り組み

● フィリピン : 大手製造業工場の通信設備

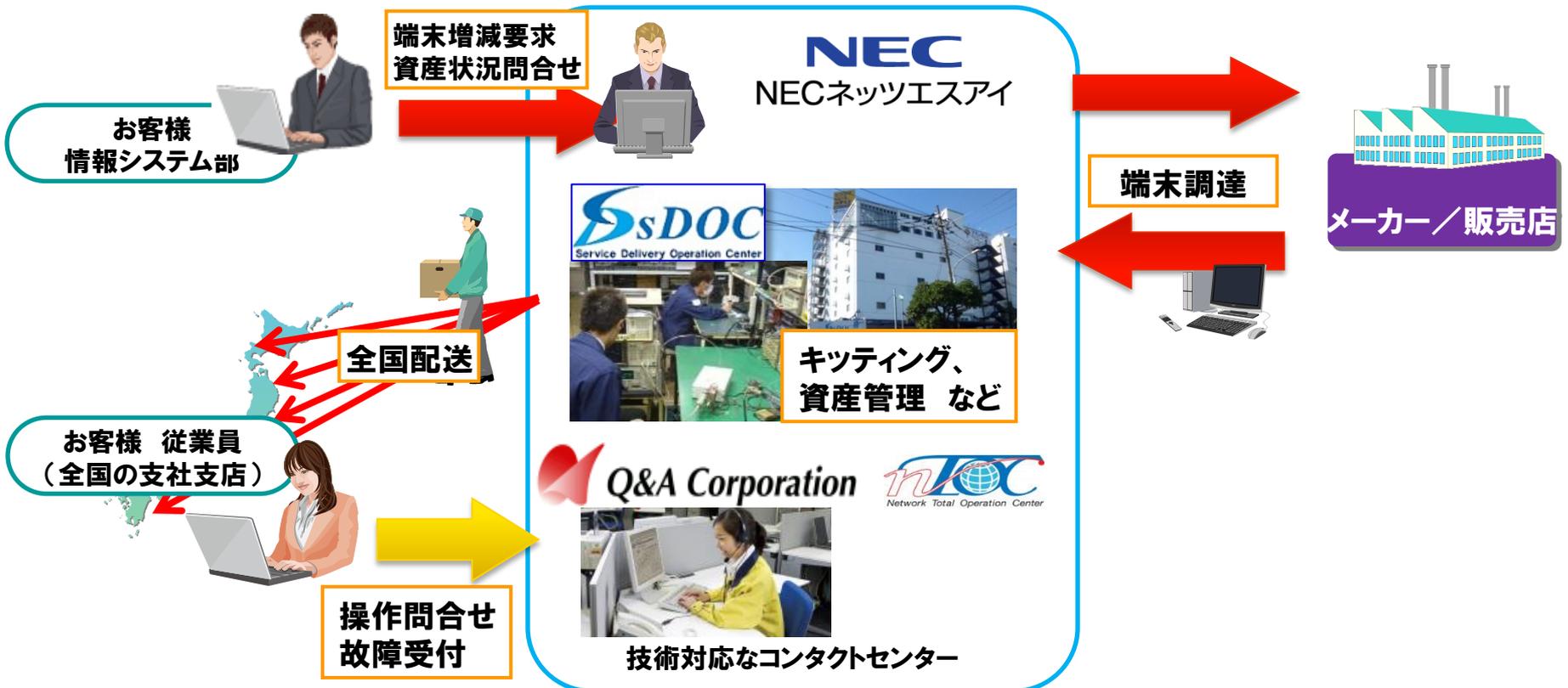
● 中国、香港 : オフィス移転・EO化

M & A企業とのシナジー成果(例. キューアンドエー社:QAC)

新サービス(BPO)の創造①

NEC
NECネットエスアイ × Q&A Corporation

- ・QACのテクニカルコンタクトセンター機能と当社サービス基盤(sDOC)を組合せ、お客様企業のICT端末の手配、キitting、全国配送から資産管理、お客様従業員への技術的問合せ対応まで、ICT資産の運用に係る業務を一括して受託



M & A企業とのシナジー成果(例. キューアンドエー社:QAC)

新サービス(グローバルヘルプデスク)の創造②

- 外国人観光客の増加、企業のグローバル化へのニーズに対応する5か国語対応の多言語コンタクトセンターサービス (**24時間365日対応**)
 - ・日系グローバル企業が採用する世界標準のICT、ソフトウェアについて、世界各国のお客様従業員に対する**技術的問合せ対応**
 - ・消防本部(119番)、ホテル等向けに在日外国人、観光客からの問合せ対応

ICTインフラ構築 **NEC** NECネットエスアイ × 付加サービス **Q&A Corporation**

在日外国人からの問合せ対応
多言語通訳サービス

グローバル企業向け
多言語ヘルプデスクサービス



NEC
NECネットエスアイ

技術対応、多言語対応可能な
コンタクトセンター

Q&A Corporation *Network Total Operation Center*

通訳
サービス

消防(119) 自治体
医療機関 交通機関
ホテル 商業施設



(外国語)
操作問合せ、
故障受付、
各種申請



世界各国の
外国人従業員

最後に

上方修正予想を達成し、 中期成長を加速

事業の成長

組織の成長

人の成長

コンプライアンス最優先の事業遂行

株主価値向上

明日のコミュニケーションをデザインする

nesic

検索



本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであり、ります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

NEC

NEC ネットワークエスアイ株式会社
NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp